

ルアンアパイ・ハナコさん来日

一般財団法人麗澤海外開発協会では、平成26年度よりラオスからの留学生招聘事業を開始し、今年で4人目となり大きな成果を上げています。

平成29年度は、9月7日に昨年度同様首都ビエンチャンにあるラオス国立大学から、日本語学科3年生のルアンアパイ・ハナコさんが来日し、麗澤大学別科日本語研修課程で1年間の日本語の研修を開始しました。

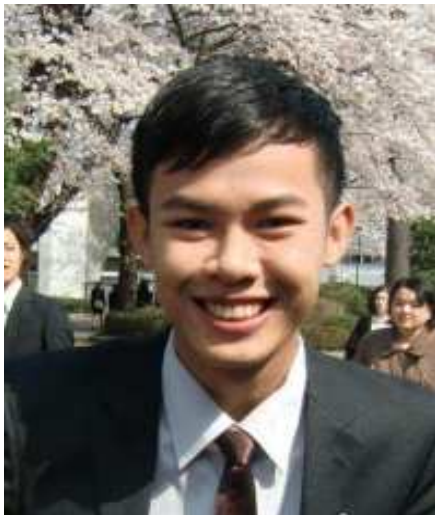
ルアンアパイ・ハナコさんは、ラオスの首都ビエンチャンの出身で、ハナコという名前ですが純粋なラオス人です。

「私は、将来、日本語を教えたいと思っています。ラオスでは日本のことが好きで、日本語を勉強したい人がたくさんいます。しかし、日本語を教える人が足りません。自分が勉強したことを他の人の役に立つために、日本語の教師になりたいと思います。私は時々『あなたは日本人ですか』とか『ハーフですか』とよく聞かれています。本当は、お父さんは日本のことが大好きです。そして、花も大好きです。それで『ハナコ』という日本人の名前をつけてくれました。」と話してくれました。



将来は、ラオスと日本の懸け橋となって活躍してもらえると期待しています。

平成26年度ラオス人留学生
ウドムスック・スリントーンくん
ラオスの中部出身で、みんなからはニックネームで「ノイ君」と呼ばれている。平成28年秋再度来日し、佐賀大学に留学。29年夏に帰国。



平成27年度ラオス人留学生
サイヤリン・プッタソーンさん
ラオスの南部サワンナケート県出身。29年9月よりサワンナケート大学の日本語教師になった。どんな先生になるか楽しみ。



平成28年度ラオス人留学生
サイヤー・プンタヴィーくん
ラオス北部のサイという町出身です。29年8月に1年間の留学を終えて帰国したばかり。別科では大変優秀な成績を残した。

